

# 物理学最前線

## -卒業研究配属のための研究室紹介-

場所:理学部C棟12番教室

時間:4時限目(14時40分~16時10分)

1回目 11月14日(火):(曜日に注意!)

川村嘉春 「現代の標準的な素粒子像」  
小竹 悟 「素粒子物理学と対称性」

2回目 11月21日(火):(曜日に注意!)

宗像一起 「銀河宇宙線モジュレーション」  
加藤千尋 「宇宙線強度の周期変動」

3回目 11月30日(木):

竹下 徹 「宇宙の始まりと素粒子」  
長谷川庸司 「次世代の高エネルギー物理学実験」

4回目 12月7日(木):

武田三男 「テラヘルツ分光とフォトニック結晶」  
宮丸文章 「フォトニック結晶・メタマテリアルで光を操る」

5回目 12月14日(木):

樋口雅彦 「固体の電子状態をいかに記述するか」  
志水 久 「物性物理とシミュレーション」

6回目 12月21日(木):

安江新一 「VHDLによる宇宙線計数回路の設計」  
寺尾 洵 「量子スピン・クラスターにおけるフラストレーションとスピン  
Jahn-Teller効果」

7回目 1月11日(木):

美谷島寛 「Quark-Gluon Plasma (QGP)について」

奥山和美 「超弦理論の最前線」

8回目 1月18日(木):

天児 寧 「金属間化合物の磁性研究—実験からのアプローチ—」

中島美帆 「重い電子系・圧力誘起超伝導体の発見を目指して」

**1月25日(木):新4年生の卒業研究配属に関する説明会**

**12時10分より3番教室にて開催します。**

**必ず出席すること！(時間と場所に注意！)**

「物理学最前線」は、来年度(平成19年度)4年生になる学生を対象とした講義ですが、それ以外で興味のある方々の参加も歓迎いたします。

(お問合せは物理科学科の川村まで)